

編輯室より

六月號紙上に豫告しました通り、私達の久しい懸案とされてゐた擴張の望みがいよいよ茲に實現されました。今度の擴張に就いては私達同人随分苦心もし、考案もめづらしましたが、何しろ發行の期日が非常に早められた爲に、體裁の上にも、内容の上にも、希望、計畫を思ひのまゝに運ぶことが出来なかつたのを残念に思ひます。然し本號に載つたものはいろ／＼の意味に於て、全くいゝ材料だと、己惚かばしらないが確く信じます。來月號からはもつと記事をくだけて出て、而も有益なものも多くしたいと思ひますが、讀者諸君に於ても、ごうか、よきにつけ、あしきにつけ、ごし／＼御氣附の點を指摘して、私達に鞭達を加へて下さるやう御願ひ申します。尙、來月號からは、お子ごもさんの教育資料として、みなさんのお子ごもさんに關する種々の見聞や經驗をも載せたいと思ひますから何分御投稿下さるやう、切に御願ひ申します。それは一口断でも笑話でも、何でもかまひません。

幼兒の教育は、後天性の性格を作る上に、いはば、人生最初の教養に盡すところの問題として、最も重大なる使命を帯びてゐるので、私達は一にみなさんの助力を俟つて、益々此の擴張を充實し意義を明らかにしなければなりません。それで、會員が多くなればなる丈、それだけ、私達の願は達せられ、幼兒の教育の氣勢を高める譯ですから、ごうかお誘ひ合して、なるべく入會者を多くして戴きたいのです。これも御願ひ申します。

追て會費六ヶ月以上御拂込の方は幼稚園協會の會員として、毎月來末に御芳名御住所を發表します。會員は、全國に催される、幼稚園協會の種々な催しに關する特別な便宜を得られます。

御注意	廣告料		定價表		冊數	定價	郵稅
	普通面一頁	表紙裏附	表紙前附	六冊(前金)			
(外國行郵稅は一部十錢の割にて御拂込下さい) <input type="checkbox"/> 本誌購讀御希望の方は定價表により振替貯金で御送金下さい(東京四六壹壹番教文書院) <input type="checkbox"/> 前金切れの節は帶紙に「前金切」と致します <input type="checkbox"/> 郵券送金の節は一割増で一錢切手に願ひます 本誌の一切は教文書院宛御照會下さい	金四拾五圓	金七拾圓	金七拾圓	金貳圓拾錢	冊	金參拾五錢	金壹錢
	同	同	一頁以下御断	不	要	要	同

大正十二年六月二十八日納本
 大正十二年七月一日發行

第二十三卷第七號

無斷 轉載 禁止

編輯者 倉橋 惣三
 發行者 越元 新吉
 印刷者 東京市東區區木柵町二ノ十三 石上文七郎
 印刷所 東京市東區區木柵町二ノ十三 教文書院印刷部

發行所

東京上野公園寛永寺坂下(上根岸八十八)
 教文書院

電話下谷三〇四七・一九五一番
 振替東京四六一一一番